

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 岡本 巧  
幹事 神野 公秀  
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に  
(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

## 第2665回例会プログラム

[当年度=25回目; 当月=3週目]

2010年(平成22年)2月15日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱  
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 西三河分区ガバナー補佐挨拶  
……石原 健一 様
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(2/22) ……  
卓話 「総合文化センター利用サービスについて」  
講師 刈谷市総合文化センター  
館長 石田 克己 様  
(紹介者 南 健 会員)
- (3/1) ……卓話  
講師 特定非営利活動法人 ラル あゆみ  
理事長 畑 和子 様  
(紹介者 鈴木 豊 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム  
新入会員アワー  
渡辺 富香 会員  
佐久間正人 会員
15. 謝 辞
16. 点 鐘……〈会長〉

## 17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

## ビ ジ タ ー

石原 健一 様 (西三河分区ガバナー補佐)  
岡崎重太郎 様 ( 〃 分区幹事 )  
中嶋 恒男 様 (知立 RC)

## 出 席

会員総数 95名 出席免除 25名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名  
欠席 6名 出席率 93.26%  
前々回(2/1)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 地区より次年度地区委員の委嘱状が届いていますのでお渡しを致します。1年間、よろしく願い致します。
- 2) 米山記念奨学会より、お2人の方に感謝状が届いています。嶋津孝久会員に第6回マルチプル米山功労者、権田銀弘会員に第1回米山功労者の感謝状です。

## ガバナー補佐あいさつ



石原 健一 様

## 幹事報告

- 1) 本日、当クラブの会員証（下期分）をメールボックスに入れさせていただきましたのでお受け取り下さい。
- 2) 2月のロータリーレートは1月と同じく90円です。引き続き、財団、米山奨学会へのご寄付をよろしくお願い致します。
- 3) 東京 RC の熊平会員より、毎年各クラブに寄贈されます「抜萃のつづり」が今年も届きましたので、本日お配りしましたのでご一読下さい。
- 4) 2月22日に予定をしておりました2月理事会を3月1日に変更させていただき、理事・委員長会議とさせていただきます。関係の皆様はご予定をさせていただきますようよろしくお願い致します。

## 委員会報告

### クラブ会報委員会

- 1) 「役に立つロータリー手帳」の原稿を配布させていただきました。3月15日を期限とさせていただきます。よろしく、ご協力を、お願いします。

## 会長あいさつ

### 「タマゴボーロの秘密」

岡本 巧



上場企業100社以上の大株主で、日本一の個人投資家・竹田和乎さん。彼はタマゴボーロで有名な、お菓子会社竹田製菓の経営者でもあります。

実は、このタマゴボーロに、大富豪の「秘密」が詰まっていることをご存知でしょうか？竹田和乎さんはこのタマゴボーロを作るのに、温めてもひよこにかえられないような、質の悪い安い卵は使わず、戦後の創業期から有精卵にこだわり続けたそうです。

しかし、どの卵を使っても、お菓子になれば味は一緒です。

しかも戦後間もない頃、お菓子の素材にこだわる人なんて誰一人いません。

有精卵の価格は3倍も高いから、ライバル会社は当然、安い卵の方を選びます。

竹田さんは、儲けは少なくなっても、あえて有精卵を使い続けたってことでしょうか？

「いや。それがね、儲けが多くなるから不思議なんです。」

知らないうちにお客さんがついてきたからだそうです。

昭和40年には市場のシェアが60%を超えました。

「このままでは、100%になってしまう」

競争相手がいなくなると自分たちを見失い恐れがあるから、それ以上シェアを増やさないように努力したそう

です。

なんと素敵な努力でしょう。

工場でお菓子に「ありがとう」と言っているのです。

たとえば、怒った時に吐き出す息を袋に入れて、中に蚊を入れると、その蚊は数分で死んでしまうそうです。逆にニコニコしている時の息では、長生きするそうです。

「素材にこだわるその先には、作ってる人のニコニコ度にもこだわる時代が来る。」

「作っている人の波動がモノに移るから」

というのが、竹田さんの考えです。

竹田さんは言います。

「1日3000回“ありがとう”と言ってみなさい。人生変わるから」

「ありがとう」と声を出していると、自然にニコニコして来て、何より運がよくなって来るそうです。

40分でほしい3000回言えるそうです（笑）

なんと、竹田さんの社員は、「ありがとう」と声を出していっていると、みんなの顔が変わってきてニコニコ顔になったそうです。

しかも、工場には「ありがとう、ありがとう」と録音されたテープが24時間流れているのです。だから、出荷するまでにほしい100万回の「ありがとう」がお菓子に入っているそうです。

### タケダのタマゴボーロ成分表示

じゃがいもでん粉・砂糖・鶏卵・卵黄・全粉乳・ミルクカルシウム・寒梅粉・小麦胚芽・100万回のありがとう 含有

## 新入会員アワー

### 3人の市長さんと市役所の仕事

渡辺 富香 会員



まずはじめに、宮田一松市長であります。

私は、宮田市長が就任した2年後の昭和44年4月に入所したのでありますが、採用試験で、面接会場に入りますと、宮田市長を中心に数人の面接官が椅子に腰かけておられました。

宮田市長も私も同じ元刈谷地区でしたので、私の父を多少知っていたようでいきなり“お、テイサンとこの息子か”といわれ、そして“どんな仕事やりたいのか”と聞かれました。実際にはどんな仕事でもよかったのですが、当時は福祉元年といわれ、次々に新しい福祉制度が始まった時でしたので、“福祉の仕事がしてみたい”と答えました。

入所して最初に担当したのが生活保護の仕事で、困っている人の話を聞き資産や貯蓄はどうか、扶養義務者はいるかなどいろいろ調査して、生活保護を適用するかしないかを決めるのであります。人の生活を左右する仕事ですので、学校を出たばかりの22歳の若者にはなかなか

荷の重い仕事でありました。

現在、市長さんが経営していた宮政瓦の倉庫や本宅の跡地が分譲され跡形もなくなっているのは、一抹のさみしさを感じております。

次に角岡与市長であります。

昭和58年から12年間お世話になったのでありますが、私もその間ほとんど財務課にいました。市役所の予算は一次査定が総務部長、次に当時の助役今の副市長査定、それから最後の市長査定であります。市長査定で休憩のときなど、角岡市長は話が好きで、若いころの青年団活動や市会議員時代の話をよくされました。そんな時、ここにお見えの岡本会長のお父様の岡本辰巳名誉市民のお話などもよくお聞きしたことがあります。

もうひとつ、角岡市長との思い出は一緒にゴルフのコースをまわったことであります。角岡市長は調子の良い時はよいのですが、ご自分のスコアの良くないときは一緒に廻る人は大変だと聞いておりましたので心配しておりました。幸い、私と廻ったその時は大変調子がよかったです、あまり心配せずに済みました。

最後が榎並邦夫市長であります。

平成7年の7月からほぼ12年間お世話になりました。温厚で大変やさしい市長さんであります、仕事についてはなかなか厳しい市長さんであります。

また大変慎重で、記者会見など公式の場所では必ず原稿を用意され、挨拶も原稿から逸脱することはほとんどありませんでした。

市役所職員としての最後は企画参事をしておりましたが、榎並市長が愛知県市長会の会長をしておられて、また、ちょうど愛知万博の年でもあり、ここにお見えの刈谷市観光協会会長の内藤耕造様が刈谷市の万博推進会長でもあられましたので、何度かお供させていただきましたことを覚えております。

以上、3人の市長さんのもとで38年間健康で職務に携わることができましたこと、深く感謝申し上げます。

## 戦うヒコーキ 時代の要請と技術的な発展 佐久間正人 会員



工作機械の話は前任者が発表済なので、趣味の「ヒコーキ」についてお話しします。

テーマは「戦うヒコーキ 時代の要請と技術的な発展」です。

では、戦中・戦後～現代・将来まで戦うヒコーキ「戦闘機」にどんな機能が要求され、技術がどう発展してきたか、を紹介していきます。

### 1. 戦中～戦後

- ・ゼロ戦は軽量・低翼面荷重を活かして当時のグラマンを多く撃墜したが、米軍機は頑丈さを活かした上空からの一撃離脱戦法が得意
- ・戦争末期にはプロペラ機に替わりジェット機が誕生

### 2. 戦後～冷戦

- ・急速にジェット化、高速化、ミサイル進化、特にロッキード F-104は音速の2.4倍の速度、謳い文句は「最後の有人戦闘機」
- ・マクダネル F-4はアメリカ海軍機で総合性能が高く、西側陣営の各国に採用、ミサイル武装のみで開発したが、ベトナム戦争では格闘戦が多発し機関砲が復活

### 3. 冷戦崩壊～現代

- ・グラマン F-14は主翼がスウィングし機関砲装備で格闘戦が得意、レーダーとコンピュータで200Km先の敵機を同時6機まで撃破可能なスーパー戦闘機
- ・マクダネル F-15、F-16は現在も世界各国で使われている現役戦闘機、高パワーと電子制御＋FBWによる従来の飛行領域を越えた飛び方・戦法で敵機を圧倒

### 4. 現代～今後

- ・「ステルス」技術は、一般的にはレーダーに映らない技術、ロッキード F-117は1970年頃の技術で機体が平面構成され、レーダー波をあらゆる方向に反射、電波を吸収する塗装、受動的なセンサー技術等を装備、イラク戦争では1機も撃墜されず
- ・旧型爆撃機と最新ステルス機のレーダー反射比率はなんと4000対1
- ・ロッキード F-22では空力的にも洗礼され、ミサイル等は胴体に収納
- ・「無人機」技術は、有人機と相互補完で今後さらに進化、当初は「偵察」レベル、最近では自立飛行・遠隔操縦でテロ基地を数mの誤差で爆撃が可能

### 5. 最後に

- ・世界を二分した冷戦が終焉しても地域紛争はなくなりません。
- ・勝手な言い分かもしれませんが、願わくは愛するヒコーキが罪もない人達を殺戮する道具とならないように祈るばかりです。

以上